

No. 12

バスケットボール

※No.3の差に替え

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 永平寺緑の村ふれあいセンター Aコート

試合区分: No. 9 成年男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年10月3日(水)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30

主審: 相原 伸康(愛媛県)

第1副審: 大庭 英裕(神奈川県)

第2副審: 阿部 聖(北海道)



秋田 (東北)	○ 78	18	—	18	● 69	長野 (北信越)
		21	—	20		
		22	—	16		
		17	—	15		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		佐藤 光	2	0	1	0	1	1	0
5	*	大矢 孝太郎	6	0	2	2	1	8	1
6		館 龍星	7	0	3	1	2	5	1
7	*	鈴木 隆史	6	0	3	0	3	3	3
8		志水 一希	9	1	3	0	0	2	5
9		菊地 啓志	6	2	0	0	1	2	0
10		高橋 純	6	0	3	0	2	1	1
11	*	山崎 渉真	18	1	5	5	2	4	2
12	*	根岸 城二	9	1	3	0	1	3	3
13	*	柳澤 洸太	9	1	2	2	1	2	3
14		青藤 大輔	0	0	0	0	0	0	0
15		佐々木 健登	0	0	0	0	0	0	0
HC		黒政 成広 / TEAM							
		合計	78	6	25	10	14	31	19

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	三浦 賢	14	0	7	0	4	1	0
5		荒木 志勇人	—	—	—	—	—	—	—
6		池田 哲也	—	—	—	—	—	—	—
7		務 暁之	—	—	—	—	—	—	—
8	*	養田 達也	4	0	2	0	5	4	1
9		松本 優雅	0	0	0	0	0	0	0
10		中村 健太	—	—	—	—	—	—	—
11	*	白井 周平	12	2	2	2	1	8	2
12	*	垂見 海舟	9	0	3	3	3	6	4
13		林 瑛司	28	4	7	2	3	6	2
14	*	岩垂 佑貴	0	0	0	0	3	1	0
15		五十嵐 鷹	2	0	1	0	0	1	0
HC		原田 将史 / TEAM							
		合計	69	6	22	7	19	28	9

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。第1ピリオド、先制したのは秋田。#11#5を中心に8得点を一気に挙げる。流れを変えたい長野は#13のカウンブレを皮切りに秋田を追い上げる。両チーム簡単にプレーさせない厳しいディフェンスで両チームあわせて14個のファウルとなる激しい10分間。互いに譲らず18-18で終了。
第2ピリオド、秋田#13のスティールから#9の連続3P、#11#12の合わせで得点を重ねていく。対する長野#12#13のドライブインで得点を重ね、一進一退の攻防。39-38の秋田1点リードで前半終了。
第3ピリオド、秋田#12が連続得点を挙げる。ディフェンスもゾーンディフェンスに変える。このディフェンスが流れを引き寄せ8点差をつけたところで長野がタイムアウトを要求。流れを変えたい長野は#4の合わせ#13の連続得点で追い上げる。突き放したい秋田はリバウンドからのファストブレイクで得点を挙げ、61-54で終了。
第4ピリオド、後のない長野は#4の連続得点で流れを掴んだように見えたが、その後が続かず無得点の時間が長く。秋田は、ディフェンスリバウンドを制し、相手にチャンスを与えない。残り30秒でファウルゲームに持ち込む長野を振り切り、78-69の秋田勝利で試合終了。
流れを渡さなかった秋田に軍配が挙げたが、最後まで諦めない長野も素晴らしいチームであった。

担当者: 荒川 真臣((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

